

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業（農林水産省連携事業）		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	地球温暖化対策課		調整官 和田 篤也	
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 特別会計に関する法律施行令第50条第7項第8号		関係する計画、通知等	エネルギー基本計画、京都議定書目標達成計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	伐採されながら利用されずに森林内に放置されている未利用間伐材等が毎年2000万m <sup>3</sup> 発生しており、これらを持続的かつ安定的にエネルギーとして利用することが課題となっている。このため、森林資源をエネルギーとして有効活用し、低炭素社会の実現、森林整備の推進、雇用の確保等を図るため、木質バイオマスを利用したモデル地域づくりの推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	以下のとおり、4事業を行うこととしている。 ①地域内における木質バイオマスを利用した熱・電気の需要・未利用間伐材等原料調達の見通し、事業採算性等の実現可能性調査(平成25年度実施、5か所程度)。 ②原木の加工、燃料の運搬、木質バイオマスのエネルギー利用等を行うための施設をリース方式により一体的に導入し、モデル地域づくりの実証事業を行う。 (平成25年度～平成27年度、12か所程度)。 ③①の実現可能性調査を行った箇所において、施設の導入・運用を通じ、課題の整理やその克服方法の検討を行う(平成26年度～)。 ④上記①～③の取組を通じて得られたメリット、課題、その克服方法等の成果をとりまとめて公表する(平成28年度以降)。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	-	-	-	-	2,500
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	2,500	
	執行額	-	-	-	-	-	
執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)
	定量的な成果実績を示せないため、成果目標・実績を示すことは困難	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	27年度活動見込
	①実現可能性調査及び調査に基づく実証を行う地区数・・・5件 ②モデル地域づくりの実証事業を行う地区数・・・12地区	活動実績 (当初見込み)	箇所	-	-	-	-
単位当たりコスト	- (円/ - )	算出根拠	定量的な成果実績を示せないため、算出困難。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	-	2,500				
	計		2,500				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	未利用間伐材等を持続的かつ安定的にエネルギーとして利用できるモデル地域づくりを推進することは、国民のニーズがある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	伐採されながら利用されずに森林内に放置されている未利用間伐材等が毎年発生しているが、木質バイオマスを利用したモデル地域の普及を図り、持続的かつ安定的にエネルギーとして利用する。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・地域が一体となって取り組むモデル地域を確立することが重要。		
予算監視・効率化チームの所見			
		未利用間伐材等の森林資源をエネルギーとして有効活用することの重要性は認めるが、持続的に展開されるモデルになるよう務めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	